



## コミュニティ研究会報告書

### 「魅力あるコミュニティづくりのヒント」

～東京電力福島第一原子力発電所事故による長期避難者等の生活拠点形成に向けて～  
公表について

昨年 7 月より、長期避難者等の生活拠点形成のための「コミュニティ研究会」(※)を開催しておりましたが、今般、研究会の成果を報告書として取りまとめましたので、お知らせします。

- 生活拠点形成にあたっては、復興公営住宅整備のみならず、良好なコミュニティを確保するための施策の重要性にも着目し、研究会を設置して、有識者を交えて検討。
- 研究会では、コミュニティ維持・形成のための方向性を整理。  
主な方向性は、以下の通り。
  - ① 居住環境によるストレスを低減させるために、住民自らが住まいや暮らしづくりに参画できるワークショップの実施
  - ② コミュニティ活動を活性化させるために、共通点を有する住民が気軽に集まって小さな活動ができるイベントの企画・実施
  - ③ 地域住民との良好な関係を構築するために、地域住民とも交流できるスポーツ、文化活動等の企画・実施
- コミュニティ研究会で議論した成果を踏まえ、コミュニティ維持・形成に向けた取組のヒントを盛り込む。

【別添 1】コミュニティ研究会報告書 概要

【別添 2】コミュニティ研究会報告書「魅力あるコミュニティづくりのヒント」  
～東京電力福島第一原子力発電所事故による長期避難者等の生活拠点形成に向けて～

※ コミュニティ研究会：長期避難者等の生活拠点等における良好なコミュニティを維持・形成する方策をハード・ソフト両面にわたって検討することを目的に、避難元市町村、受入市町村、福島県、関係省庁が参加し、有識者等の意見を聴取しながら開催してきた研究会。(事務局：復興庁、福島県)

本件連絡先：

(原子力災害復興班) 担当：佐藤、石田、中村

電話：03-5545-7369(直通)